

東京都 沖ノ鳥島・南鳥島シンポジウムを開催します

日本最南端・最東端の国境離島である小笠原諸島の沖ノ鳥島・南鳥島について、より多くの方に理解を深めていただけるよう、シンポジウムを開催しますので、お知らせします。

記

- 1 開催方法 オンライン開催（事前収録した映像をYouTubeで配信）
- 2 日時 令和4年3月10日（木曜日）13時半から（約3時間）
（アーカイブ配信は3月11日（金）11時から同月25日（金）17時59分まで）

3 プログラム（予定）

- ◇ 主催者挨拶 東京都知事 小池 百合子
- ◇ 講演①「海洋立国・日本における国境離島 沖ノ鳥島・南鳥島の重要性について」
東海大学 海洋学部海洋文明学科 教授、静岡キャンパス長 山田 吉彦
- ◇ 講演②「海洋調査研修船「望星丸」による沖ノ鳥島周辺における研究調査について」
東海大学 海洋学部環境社会学科 教授、海洋研究所次長 石川 智士
- ◇ パネルディスカッション「可能性を秘めた国境離島～沖ノ鳥島・南鳥島の利活用を考える～」
モデレーター：国立研究開発法人海洋研究開発機構 地球環境部門
海洋生物環境影響研究センター 海洋環境影響評価研究グループ
主任研究員 川口 慎介
- パネリスト：いであ株式会社 常務執行役員 木川 栄一
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 企画官 萩原 貞洋
東海大学 海洋学部環境社会学科 教授、海洋研究所次長 石川 智士
- ◇ さかなクンお魚解説「沖ノ鳥島・南鳥島とお魚たち」
さかなクン（東京海洋大学名誉博士／客員准教授）

- 4 配信用 URL 「東京都沖ノ鳥島・南鳥島ウェブサイト」から
どなたでも無料で御覧いただけます（事前申込不要）
<https://www.t-borderislands.metro.tokyo.lg.jp/symposium/>



5 その他

本シンポジウムと併せ、東京都産業労働局にて「沖ノ鳥島フォーラム」を配信しています。

本件は「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。
戦略17 多摩・島しょ振興戦略
「島しょの魅力創出」

<問合せ先>
総務局行政部振興企画課
小笠原・国境離島担当
電話：03 - 5388 - 2978（直通）

東京都沖ノ鳥島・南鳥島シンポジウム



参加
無料

東京には、あなたがまだ
「知らない島」がある。

はるか遠くの洋上にある沖ノ鳥島と南鳥島。

東京都には、日本最南端、最東端の国境離島があります。

豊かな海の恵みをもたらし、私たちの未来を明るく輝かせてくれる

かけがえのない2つの島。

大きな可能性に触れてみませんか。



日時 2022年3月10日(木)13:30~(約3時間) **配信開始!** オンライン開催

※3月11日(金)11:00よりアーカイブ配信

事前申込不要 動画の配信は、3月25日(金)17:59まで

視聴方法 <https://www.t-borderislands.metro.tokyo.lg.jp/symposium/>

「東京都沖ノ鳥島・南鳥島ウェブサイト」をご覧ください(配信用URLをご確認いただけます)。



プログラム

主催者
挨拶



東京都知事
小池 百合子

講演 1

※約30分間

海洋立国・日本における国境離島
沖ノ鳥島・南鳥島の重要性について

山田 吉彦

学校法人東海大学
海洋学部 海洋文明学科・教授、
静岡キャンパス長
(学長補佐)



講演 2

※約30分間

海洋調査研修船「望星丸」による
沖ノ鳥島周辺における研究調査について

石川 智士

学校法人東海大学
海洋学部 環境社会学科・教授
海洋研究所・次長



パネルディスカッション

※約60分間

可能性を秘めた国境離島
~沖ノ鳥島・南鳥島の利活用を考える~

さかなクンお魚解説

※約30分間

モデレーター



国立研究開発法人海洋研究開発機構
地球環境部門 海洋生物環境影響研究センター
海洋環境影響評価研究グループ
主任研究員
川口 慎介

パネリスト



いであ株式会社
常務執行役員
木川 栄一



内閣府 科学技術・
イノベーション推進事務局
企画官
萩原 貞洋



学校法人東海大学
海洋学部 環境社会学科・教授
海洋研究所・次長
石川 智士

沖ノ鳥島・南鳥島と
お魚たち

さかなクン

国立大学法人 東京海洋大学
名誉博士/客員准教授



お問合せ先 東京都沖ノ鳥島・南鳥島シンポジウム事務局 TEL03-3263-6598(平日10:00~17:00) emailokinotori-minamitori@ad-nikko.co.jp

主催: 東京都

